



座光寺風景

スライム作りに集中

11月21日(土)座光寺公民館にて毎年恒例の「子ども科学教室」が行われました。(参加者子供29名保護者13名) 今回の内容は「スライム作り」「ストラップ作り」「色変わりつけ麺」と盛りだくさんでした。

■楽しかった科学教室

座光寺小学校5年 西村こはる

私は、初めて科学教室に行きました。紫外線で色が変わったスライム、ストラップやつけめん、ホットケーキ、スライム作りは、とても楽しかったです。また、行けたら行きたいです。

教えてくださった湯沢先生は、去年の社会見学で、リサイクルセンターに行った時にお会いした先生でした。また会えるなんてとても嬉しかったです。

■子ども科学教室の

企画運営に参加して

公民館健全育成部 村澤小百合

育成部科学班のメンバーの思いは、参加してくれる子ども達に「すごい！」と言ってもらったことでした。三つの内容のうちで私が一番子ども達に楽しんでもらえたと感じたのは、スライム作りです。自分の気に入ったスライムになるまで、みんな悪戦苦闘。「これでいいのかな?」「できん!」そんな子どもには、スタッフの助言や講師からのナイスフォローがありました。失

驚きと笑顔あふれる科学教室



麺の色が緑色に変わったよ!!

敗して失敗して、何度もやり直しながらついに完成するスライム。完成したスライムを持ってきて、私に得意気に見せてくれる子ども達のキラキラした笑顔が忘れられません。全員が思い思いのスライムを完成させ、楽しそうに遊んでいました。子ども達には、スライムの作り方そのものだけでなく、何度失敗してもあきらめない科学の精神も学んでもらえたと思います。私自身もこの企画を通し、多くのことを子ども達から学ばせてもらいました。良い経験ができてとても満足しています。

平成27年度

防災訓練

体験しよう防災感覚

■自主防災連絡協議会

吉川 節雄

平成27年度の座光寺地域防災訓練は、8月30日(日)に実施されました。

実施訓練におきましては、安否確認率が99・9%と事前目標率を9・9%アップでき、全体訓練参加人数300人でした。一時避難所での訓練では、各世帯から1名以上(小中学生含む)参加し、安否確認・防災用具、消火器具の取り扱い・土嚢作り・放水等を行いました。

全体訓練では今年度、飯伊地区包括医療協議会と連携して「大規模災害医療救護訓練」を、雨天のため座光寺小学校の体育館で行われました。赤色・重症者(最優先治療)、黄色・中等症者(優先順位2番目)、緑色・軽症者(主に日赤奉仕団・保健師が手当)の医療人によるトリアージ訓練及び応急救護処置、内科・歯科診療、薬剤調達訓練を行い、普段近くでは見られないトリアージを目の前で見て、緊張感溢

れる訓練を体験することが出来ました。

当番区の2区では、患者搬送用車両を用意して、救急車と共に本番同様に飯田市立病院まで傷病者を搬送いたしました、更に身近に感じて頂くためのAEDの訓練では、各区2名の実施者(うち、1名は中学生又は女性)が約5分間の心臓マッサージを行って頂き、有事即応に対応できる体験ができたと思われます。

最後に、今年も局地的豪雨等が多く発生する中で、我が座光寺地域としても例外ではありません。座光寺土砂災害危険区域図&座光寺防災ハザードマップ」を再度確認をしていた、たと共に、この実務訓練を積み上げることにより、よりの確な災害対応が出来ることと思います。

■地域防災訓練を終えて

日赤奉仕団分団長

竹内ちづ恵

今年の座光寺地域防災訓練は、飯伊地区包括医療協議会と連携した大規模災害救助訓練が行われました。

医療救護措置・救急搬送・心肺蘇生など、大勢の医師、歯科医師、薬剤師の方々がテキパキと指示・処置されて会場内

も緊張感が漂っていました。

私たち日赤奉仕団は、トリアージによる軽処置群(緑色)の負傷者の手当てを行いました。皆、一生懸命対処する事ができました。三角巾による「傷の手当て」で、日常や有事の際も大変役立つ手当てです。毎月公民館にて救急法講習会を行っていただきますので、是非見学して頂き、多くの方に資格取得をお願いしたいと思います。

また、炊き出し訓練におきましては、近隣地域との連携、協力という事で、自治振興センターや自治会のご協力を頂き、上郷分団に炊き出し要請を行いました。参加された皆様に、おにぎりや味噌汁の配食をさせて頂きましたが、いかがでしたでしょうか。

各関係の皆様、大変お世話様になりました。



負傷者の処置訓練

ごみゼロ運動を

終えて

環境衛生委員長 今村 建一

11月15日(日)に「秋のごみゼロ運動」が行われ、春と秋の運動は無事終了いたしました。

地区の皆様のご協力により作業は終わり、不法投棄のゴミは昨年比べて半減しました。各区のパトロール員の毎月の努力が、功を奏して来ていると思います。

環境美化指定路線では、たばこのポイ捨てが、今だに多いのが現状です。今後ポイ捨てが減るように、小学生の皆さんの啓発ポスターを立て、なくなっていくようにと考えております。

リサイクル事業係員は、年4回の作業を的確に行っております。ビンの回収ですが、油で汚れたもの、薬の入っていたピンは埋め立てごみに出して頂くようお願いいたします。

今後、環境衛生委員会と生活安全委員会とは、合同の作業を行うことを考え、両委員会検討しております。

委員の方々は忙しい中、頑張っておりますので、皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

地域移送サービス

連絡会

会長 浜島 敏彦

平成24年から始まった健康福祉委員会傘下の、障害者等移動困難者を支える取り組みとしての地域移送サービス事業は、現在年間200件程度の依頼を受けるまで広がり順調な推移がみられる。

当地区では運転手の確保が課題であったが、今年新たに2名の参加を得て、総員9名となり、今後は更に円滑な運営が期待できるようになった。

現在は競合する業界との調整もあり一方的な拡大に対しては規制が求められる情勢であるが、地域の助け合いを旨として一層の利用促進に向け取り組んでいきたい。

運行時間は月曜日から金曜日までの8時半から17時まで、料金は片道1時間以内で650円、通院および簡単な買い物に対応しており、利用される前日までの申し込みを受け付けています。

地域の皆様も周りに困っている方がいれば民生委員や身近の健康福祉委員に相談の上、自治センター内の事務局に是非ご連絡をお願いいたします。

渋谷区との交流

渋谷区交流の
経緯と展望

地域自治会相談役 湯澤 英範

平成22年正月、新年初顔合わせの席上で私は、「渋谷区との交流」について30分ほどの新春放談をした。

その内容は、渋谷区長との個人的なご縁で渋谷に「りんご並木」を造るといふ話が水面下で進んでいたが、これを座光寺の地域づくりの一環として渋谷区交流を展開しようとする夢のあるものでした。多くの方々から、賛同する力強い言葉を頂戴した。

早速、その年の3月に表参道と山谷小学校で、渋谷区長児童等が出席の下、座光寺からも50名近い参加者で盛大な植樹式を行った。

りんごを植えた表参道は、終日人通りが多く、毎年実が盗られる状況であったが、5年の地道な栽培指導の甲斐もあってこの秋、遂に収穫できたことは画期的な出来事。

この誠実なりんご交流に端を発して、表参道での竹宵によるキャンドルナイト参加、渋谷駅前ハチ公公園や道玄坂での竹の垣根づくり、渋谷駅のエキアトイベントへの麻績太鼓の出演、更には渋谷区民フェスティバルへの参加と交流が年々拡大してきた。

一方渋谷区からは、「緑の環交流」と称して座光寺と下久堅へ毎年訪ねてきており、りんご狩り、竹細工、いも掘りやそば打ち体験などを楽しみ、飯田の魅力をも十分に満喫された。

更に、交流は市域に拡大して、竹田人形を筆頭に今田人形（龍江）霜月祭（上村）名古熊獅子舞（鼎）の伝統芸能を、渋谷の伝承芸能専用の立派なホールで2回に分けて公演し、区民に飯田の文化の素晴らしさを強く印象づけた。

この動きは継続するとしており交流の着実な成長を感じる。こ

広がる交流の輪

パノラマファーム大門

場長 代田 勝

パノラマファーム大門の活動も4年目を迎えました。今までは出来る事から始めようと草刈りを中心に活動していましたが、次の段階として地域の活性化へ向けて色々な場所を視察研修をして参りました。その中の一か所をご紹介します。

奈良県の青少年野外活動センターという所です。場所は若草山の上段で、初めて訪れて感じたことは山あいの古い家と石垣木造の塀。まるで昭和の時代へタイムスリップしたようでした。この地も高齢化と若者流出が進み、悩まれていたようです。そこで地域民が一体となり廃



賑やかに交流（10月麻績の館）

れからの座光寺にとっては、リニア時代を見据え地域の将来像を描きながら、意欲的な交流を進めれば、更なる座光寺の発展に繋がることでしょう。

ふるさと渋谷フェス

ティバルに参加して
アクティブ座光寺

代表 棚田 健治

去る、11月2日、3日の二日間、「第38回渋谷区くみんの広場 ふるさと渋谷フェスティバル」が渋谷区代々木公園で開催され、昨年に引き続き飯田市を代表してアクティブ座光寺が参加してきました。

このイベントは、渋谷区が毎年開催し、代々木公園全部を使って、渋谷区と交流のある全国各地の農産物の直売や伝統芸能の披露などが行われ、大勢の人で盛り上がります。日本全国から数多くのブースが出店する中、私たち『アクティブ座光寺』は、下久堅柿野沢地区のみなさん、飯田市観光協会の方々と共に飯田市のブラスにて、アユの塩焼き・おやき・五平餅の販売、リングなどの農産物や加工食品の販売を行いました。

初日はあいにくの雨模様だったため、イベントへの出足が悪く、心配しましたが、3日の祭日は秋晴れの下、多くの方々に購入してもらい、お昼過ぎには完売してしまうほどの大盛況でした。

また、今回は飯田市出身東京在住の方々にも声をかけたため、販売やPRを手伝ってもらいました。

今後においても、このような座光寺と都市部との交流の場に積極的に参加し、地域の魅力をアピールできればと思います。

私たちの誇り

〜渋谷竹垣作り〜

代表 棚原 綱由

渋谷駅前ハチ公広場からの竹垣設置作業も4年目。今年は昨年の続きの道玄坂2丁目両側の100メートル。AM5時半に14名が車3台に分乗して出発。朝方は小雨。山梨県ではどしゃ降り、でも渋谷に着く頃には太陽も顔を出し笑顔で迎えてくれました。もう慣れたもので材料配り、竹垣組み、そして紐結びの分担作業。すごい人通りの中でも順調に進み、花壇を手入れしている方からも喜ばれました。夜の交流会には長谷部新渋谷区長も出席され、「祖母が松尾の出身で飯田は本当に愛着がある」との事でした。座光寺の竹で地元の仲間達での竹垣作りを、私達は本当に誇りに思っています。

元善光寺公園新しい遊具決定!



10月8日から10月22日まで新設する遊具の全体イメージ原案(4案)の中から1つ選んで投票する期間が設けられ住民の方々の投票がありました。

上位3案に絞られた二次選考会では、自治会正副会長、元善光寺住職、座光寺小学校長ほか10名の方により得票1位の案に決定しました。

工事期間は平成28年3月上旬～3月下旬頃。



老朽化のため撤去された元善光寺公園の遊具。
(同時に試掘調査も行われましたが、何も出ませんでした)

敬老祝賀会

敬老祝賀会盛大に開催

健康福祉委員 正木 茂

10月18日(日)午前11時から座光寺公民館で敬老祝賀会が晴天に恵まれ、75歳以上の70名の皆様が参加され、盛大に開催されました。

式典では、小中学生代表の皆さんからの作文の朗読があり、祖父母に対する微笑ましい姿が感じられました。また、座光寺小学校6年生のリコーダー演奏は練習を重ねてきた成果が出ていました。参加者代表の林富子様から感謝の言葉を頂戴しました。

式典に続いての安全教室では、長野県交通安全支援センターの女性2人による桃太郎の手遊び。グーとパーを出すだけの遊びですが、やってみるとなかなか大変で、会場は笑い声でいっぱいでした。また、「けんちゃんと交通安全」(腹話術)を聞きながら、日頃の自分の行動を垣間見た方がいらつしやるのではないのでしょうか。

祝宴では、若さ溢れるダンス、新日本舞踊、歌、ハーモニカ演奏、詩吟等の余興をこ

披露いただきました。特にハーモニカ演奏に合わせ会場の皆さんが歌と一緒に歌ったのが印象的でした。

参加された皆様のご長寿とご健康を祝いました。

史跡恒川官衙遺跡保存活用計画(原案)について

12月2日(水)午後7時から座光寺公民館にて、国史跡恒川官衙遺跡の保存活用計画(原案)についての説明会が飯田市教育委員会の主催により開催されました。

主な内容としては

「史跡恒川官衙遺跡の保存活用計画の概要」
「史跡恒川官衙遺跡の整備活用の方針」の説明の後、質疑応答が行われました。

史跡恒川官衙遺跡保存活用計画とは、平成26年7月に有識者と座光寺自治会長により組織された専門委員会にて8回にわたり計画原案の検討、作成されてきたもので「恒川官衙遺跡の価値を明らかにし、それらを適切に保存管理していくための方針」を定め、そ

の上に立って「史跡の価値や魅力を広く伝え活用していくための整備活用方針」「管理運営方針」が示されました。この保存活用計画には期間の定めはなく、概ね10年毎に見直しが行われます。今回説明があつた原案については広く意見をいただき必要加筆、修正を加えて今年度末(平成28年3月末)までに完成させる予定です。

この保存活用計画の詳しい内容に付いては自治振興センターに資料がございます。

また、飯田市ホームページでも閲覧する事ができます。

飯田市教育委員会では保存活用計画へのご意見、ご質問(パブリックコメント)を広く募集致します。

期間は平成27年12月22日～平成28年1月21日。自治振興センターの意見箱若しくは、飯田市ホームページまでご意見をお寄せ下さい。

お問い合わせ

飯田市教育委員会
生涯学習・スポーツ課

☎ 0265-22-4511

(内線3753)

旧飯田工業高校後利用について

17年度から一部供用となります

来秋にも改修整備 広域連合が県に了承要望へ

南信州広域連合は12月1日に飯田市内で開いた同広域連合議会全員協議会で、旧飯田工業高校を活用し、産業振興や学術研究の機能集積を図る「知の拠点」構想について、説明した。

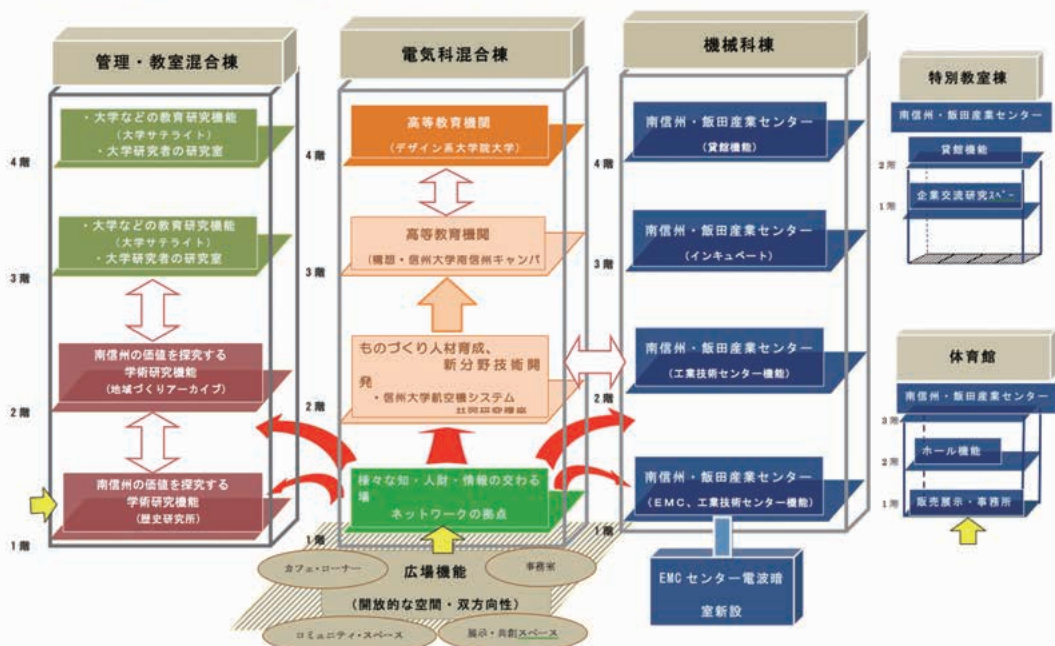
構想では、信州大学の共同研究講座の設置や南信州・飯田産業センター（同市上郷別府）機能の移転拡充、高等教育機関や教育研究施設などの集積を目指すもの。

施設整備のスケジュール案によると、主要校舎3棟の改修は来年10月ごろに開始。地域の産学官金連携による信大の研究講座や交流・広場機能、市歴史研究所（同市上郷飯沼）の移転などの学術研究・アーカイブ機能は17年度からの併用開始を見込んでいる。

南信州・飯田産業センターの機能移転は18年4月を予定。現在隣接するEMCセンターは移転拡充するための新設工事を18年度に行い、19年4月の供用開始を目指している。

（南信州新聞より一部抜粋）

旧飯田工業高校後活用（産業振興と地域振興に寄与する学術研究の知の拠点）



あなたにも、
マイナンバーはじまります



イメージキャラクター
マイナちゃん

★平成28年1月から社会保険・税・災害対策に関する手続きで、マイナンバーの利
用が始まります。

※年金の手続きでは、マイナンバー
の利用開始が延期される予定です。

★申請によって個人番号カード
を取得すれば、窓口での
本人確認がスムーズに行え
ます。

マイナンバーに関する
問い合わせ

コールセンター
（全国共通ナビダイヤル）
0570-120-0178

※平日午前9時30分～午後5
時30分（土日祝日・年末年
始を除く）

※ナビダイヤルは通話料がかかります。

●市の窓口

市民課（内線5423）

マイナンバー

3つのメリット

①利便性の向上

★面倒な手続きが簡単に

申請時に必要な所得証明書
などの資料の添付を省略でき
るようになります。

②行政の効率化

★手続きが正確で早くなる
行政機関・地方公共団体で
の作業の無駄が削減され、手
続きがスムーズになります。

③公平・公正な社会の実現

★給付金などの不正受給の防止
行政機関が市民の所得状況
などを把握しやすくなり、不
正受給を防止できます。

マイナンバー制度に
便乗した詐欺に注意

●マイナンバーの通知や利用
手続き等で、国や自治体の
職員が家族構成、資産や年
金・保険の状況等を聞くこ
とはありません。

●不審な電話はすぐに切り、
来訪の申し出があっても断つ
てください。不審なメール
は無視しましょう。

●万が一金銭を要求されても
決して支払わないようにし
ましょう。

●少しでも不安を感じたら、
上記コールセンター、飯田
市の窓口、自治振興センター
窓口までご相談ください。

ふるさと探検

座光寺の宝

ふるさと探検をして

座光寺小5年 石川 美月

私は南本城を探検して、おどろいた事を書きます。

座光寺にはふたつお城があった事です。私は北本城しかないと思ったけれど南本城と北本城両方あったなんて知らなかったから分かって良かったです。また、敵が下から攻めてこれないように急坂にして、上から攻撃出来るようになっていたので工夫されていると思いました。

その後、公民館へ行って五平もちを作って焼いて食べました。とってもおいしかったです。

心に残る思い出を

ふるさと体験班 片桐 茂昭

座光寺の宝である自然、歴史、文化や伝統料理等を子ども達が身を持って体験し、多くの楽しい思い出を作ってもらうこと。この積み重ねが郷土を愛する子どもに育ってくれること信じ、9月13日公民館育成部による「南本城跡」の学習と「五平餅作り」の体



南本城へ いざ出発

験を開催しました。子ども15名、保護者6名の皆さんが参加してくれました。まず、南本城では塩澤公民館長より山城についての説明を聞きまし
た。「曲輪」「土塁」「虎口」等初めて聞く話に皆さん熱心に耳を傾けていました。また、小林正明先生より里山に生息している草花「ウルシ」「ハギの花」「クズ」また、外来種の「アレチウリ」等々の説明を受けながら公民館へと下りていきました。

里山の中にある山城「南本城跡」を歩くのは初めての経験と言う参加者も多く、楽しく山歩きができたようです。さて公民館に戻つての楽しみは五平餅作りです。山に向かう前に型抜きしておいた餅を炭火で焼く作業、「腹へったよう早く焼けないかな」と言いなが

がらうちわであおぐ。焼けた餅に味噌だれを付け食べ始める。一人で4本、5本も食べる子ども。口のまわりを味噌だれだらけにして食べる子ども、「また五平餅会を開いてほしいな」口々に言う子ども達。その様子を見た育成部員も満足顔。参加者もスタッフも楽しく過ごすごうできた一日でした。

インタビュー

★探検に行つて印象に残っていることは何ですか？

・わからなかった草を、たくさん教えてもらった。
・ウルシがかぶれると知らなかった。

・北本城があることは知っていたけど南本城があることは知りませんでした。同じ高さの所に、長姫城と松岡城址の3つのお城があったことが分かりました。

★五平餅作りはどうでしたか？

・竹の型にいれて抜くのが難しかったです、でもきれいにできました。

(4年 下原梨奈さん)



生活安全委員会

青少年少女による

高齢者家庭訪問活動

交通安全副部長 棚田 洋子

11月15日に飯田交通少年団座光寺支部と座光寺青少年消防クラブの児童15名が参加し、5班に分かれて4地区22世帯の高齢者の家庭訪問を行いました。児童達は出発前に、飯田警察署から交通事故に対する話を、消防署から火災に対する話を真剣に聞き、身を引き締めてから家庭訪問に向かいました。紺色の制服に黄



家庭訪問活動の様子

色いバンダナの交通少年団員と、小さな法被を着た消防クラブの児童達は、それぞれに注意事項を読み上げて、学校の仲間が書いたメッセージカードと啓発グッズを高齢者に手渡し、とても喜んでいただきました。

生活安全委員会

防犯灯は12月末までに

点灯します

生活安全委員長 宮澤 俊明

ご存知の様に座光寺商工会管理の商業灯の約半数が、この秋に撤去されました。防犯上の観点から、生活安全委員会では、それぞれの場所において、防犯灯の設置が必要であるか否かの判定を行いました。その結果、「15ヶ所において設置が必要である」との結論に至りました。更に、地区から出てきた要望のうち一ヶ所を加え、合計16ヶ所に防犯灯を設置することと致しました。予算の面では、多額の工

事費が予想される中、飯田市からの防犯灯整備事業の助成と、地元自治会のご理解ご協力をいただきましたお陰でやっと捻出することができました。今は、施工業者も決まり(山田電気設備工事株)今年12月末までに設置が完了し、点灯開始すべく進めております。

注目すべきは、今回商業灯が撤去されたのを見て、商業灯がいかに防犯灯としての機能を担っていたかという事です。商工会の皆様は今までの社会貢献に感謝すると共に、今後とも末永く残りの商業灯が維持されますよう紙面をお借りしてお願ひ申し上げます。

「2000年浪漫の郷」今後の展望

2000年浪漫の郷委員会 片 桐 善 昭

私たちの住む座光寺地域には、古代（縄文弥生時代）から、現代にいたるまでの2000余年の歴史の中で、先人たちにより築かれてきた、貴重な歴史文化資源が数多く存在しています。

「2000年浪漫の郷」とは、昨年国史跡に指定された「恒川官衙遺跡」をはじめ、高岡古墳群や、元善光寺、麻績学校校舎、南本城、耕雲寺、石川除等を含む一帯を指しています。

当委員会は、リニア開通を見据え、市民の憩いの場、都市との交流、学習の拠点等を視点として、まちづくりを推進するために発足した委員会です。そして、今まで地域で保存等に取り組んでいただいている各団体の代表、志のある方等から組織されています。

この郷に集積されている歴史資産は、郷土の宝であり、誇りです。この宝を活かしたまちづくりにより、交流人口の増加、産業のブランド化へと発展させていくには、先ず

は住んでいる私たちが、価値観、目指す姿を共有しなければと考えています。

史跡周辺は地域の将来構想を検討するうえで「核」となることを期待していますが、地域で検討を進めるうえでは、イメージ図などで共有しながら進めていきたいと考え、市政懇談会などでも働きかけてきたところ、この度、史跡恒川官衙遺跡の保存活用計画が示されました。

恒川官衙遺跡については、これまでも歴史に学び地域を訪ねる会や史学会を中心に文化祭での出土品・資料展示などにより地域を知る機会を提供して頂いてきたところです。

当委員会としては、今一度、この史跡の価値と整備構想など、「地域の重要な資源としての恒川官衙遺跡について」を再認識頂く機会として文化祭の折りに講演会とパネル展示などを実施することを計画いたしました。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

公民館女性委員の会

女性の力を地域づくりに

会長 横前 泰子

昨年度の地域づくりフォーラムで、話題提供していただいた小布施町の女性の方から「女性の出席が少ないですね。」と言われました。同じ女性から言われたことは、とてもショックでした。

住んでいる人が楽しく豊かに、訪れる人が又来たくなるような地域にするために、男も女も若者も高齢者も、みなで考える必要がありますが、なぜか、地域のことを考える場面に女性の参画が少ないのが事実です。

近い将来リニアが開通し、この地域も大きく変貌してまいります。『女性ならではの目線で、地域を見つめ地域を知って、これからの地域の在り方を考え、住みよい座光寺地域の実現を目指す』という会の目的に沿えるよう活動してまいります。

初めての取組として、この地域の伝統食であるお年取りの汁を文化祭で皆さんに試食していただき、この地域を訪れてくれる方のおもてなしの一品にならないか探していきたいと思えます。

公民館体育部

運動会(雨天中止)準備ご協力ありがとうございました

体育部長 長尾 浩一

10月11日開催予定の運動会でしたが、残念ながら雨天中止となりました。

運動会準備にご協力いただきました公民館委員の皆様、各種団体の皆様、誠にありがとうございました。また、各地区長様ならびに体育係の皆様には地区を取りまとめたいただきまして大変感謝しております。

今年度は中止となりました

クラブサークル紹介

座光寺剣道クラブ

座光寺剣道クラブでは、現在7名の指導者の元、一般1名、中学生3名、小学生3名、年長3名で活動しています。

麻績の館で、毎週土曜日、午後7時から9時頃までの稽古の他、昇級審査、大会



たくさんの仲間を待っています

参加、年二回のお楽しみ会等の活動をしています。楽しく稽古していますのでいつでも見学、参加しに来てください。お待ちしております。



景品抽選会の様子

が、今後住民の皆様がより多く参加していただけるように、体育部としても考えていきたいと思えます。

また、住民の皆様のご意見、ご要望などありましたら、是非お寄せいただきますようよろしく願います。

座光寺の自然概観

座光寺の
自然 2

西の沢を歩くと

昨年の秋、公民館の西側にある谷“西の沢”を歩く機会がありました。入り口から50メートルで阻まれ、途中からは進むことができません。この時に侵入を阻んだのが写真①のように道を覆った藪です。10年ほど前には軽トラでフルーツラインの下までは行くことができました。この変化は誰も沢の道に入っていないことを示しているのです。この道は大堤や原集落に通じる上段と下段をつなぐ道でしたし、西の沢井水の水路と管理路です。

どんな林？上から見ると

西の沢は座光寺の上段と下段を遮断する段丘崖に入り込んだ沢です。沢の両側はこの地域を代表する林が連なっています。段丘崖の林ってどんなものなのでしょう？

フルーツラインは一部の段丘崖の林の上を走っています。この橋の上からみるとどんな林なのかうかがうことができます。写真②は西の沢にかかる橋の上から南本城方向をみたものです。豊かな林が広がっています。落葉広葉樹林に混じって見える針葉樹はスギとモミです。スギは植えたものの、モミは自然のものと思われます。大きなモミの木があることは林が発達していることを示しています。



西の沢の農道を覆う藪



フルーツラインから見た西の沢の林

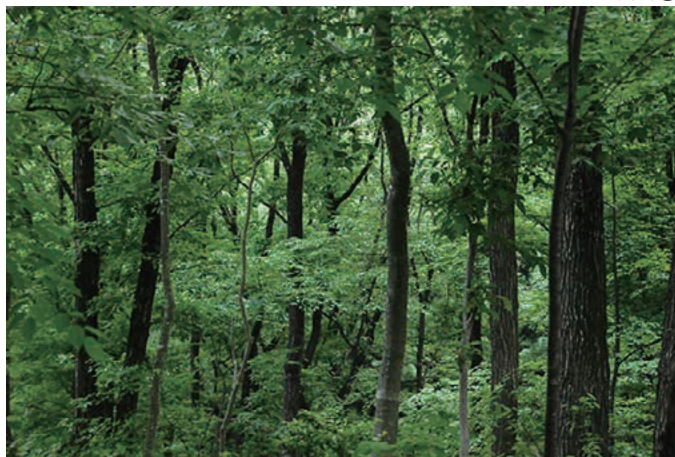
広葉樹は何？

林を構成する広葉樹はどんな種類でしょうか？ 林の中を歩いてみました。

写真③はその林。コナラ、カスミザクラ、クリ、ウワミズザクラ、クヌギ、アベマキ等々です。いずれも十分に太い立派な木。写真②と③を見ると、林ではなく“森”と言うべきです。

ただ、よくみると中間層を欠いた森です。また考えてみるとこの見事な森はずっと長い間、木を切らなかったからです。それは西の沢の道が草藪で覆われて、歩けなかったことと共通な現象だと思われるのです。

(伊那谷自然友の会会長 小林正明)



森の中の様子：コナラ（細長いどんぐりがなる）、クヌギ（大きな丸いどんぐりがなる）、カスミザクラなどの木が繁る。

編集後記

9月に行われたふるさと探検に大勢の親子の皆さんと一緒に私も参加させていただきました。中学生の時、飯田に移り住んだ私にとって本格的な五平餅作りは初体験でした。

竹を輪切りにした型の中に御飯を詰めて、きれいな円い型で抜き竹に刺すといったことも珍しく、すごい知恵だと思いました。そして支所の外でU字溝をいくつも並べ、中に炭を置き火をおこして五平餅を並べてみるとピツタリ。ふるさとの食文化の素晴らしさに感動しました。南本城の探検には、私は服装も靴も準備不足のため行くことができなかったのですが、小学生のお友達から様子を聞いて、行ってみたいと思ったと後悔しました。現代の子ども達に残してあげたい行事だなと思いました。育成部の皆さん、ありがとうございました。(広報K)



見事な手つきで焼いていきます